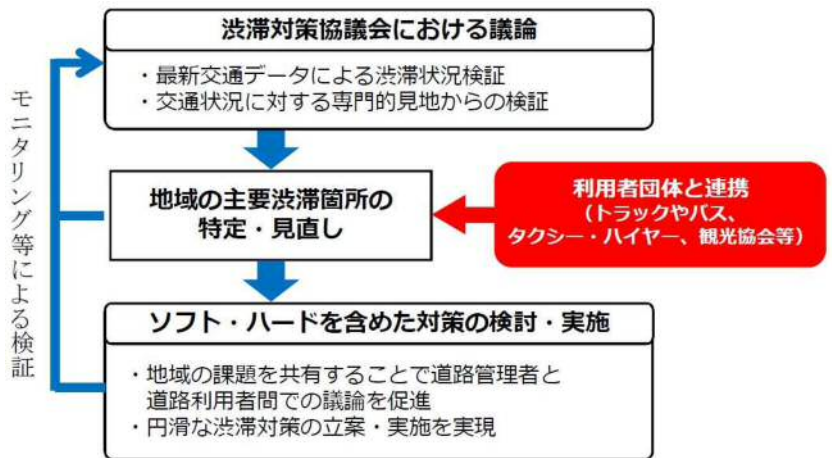


1. 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施する取り組みを全国で推進します。

渋滞対策の推進体制



2. 主な事業箇所・事業内容

国道29号 安長北交差点
(鳥取県 鳥取市)



<<右折レーンの延伸を予定>>

国道9号・191号 中吉田交差点
(島根県 益田市)



<<右折待ち待避スペース(ゼブラ帯)の増設を予定>>

国道2号 手ノ原交差点
(岡山県 浅口郡 里庄町)



<<右折レーンの延伸を予定>>

国道31号 東部流通団地北口交差点
(広島県 安芸郡 海田町)



<<路面表示(導流路)の明示を予定>>

国道2号 錦見交差点
(山口県 岩国市)



<<停止線の前出し(交差点のコンパクト化)を予定>>

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は、西日本に立地する火力発電所や鉄鋼、製紙、化学工業等で発電燃料に用いられる石炭の輸入拠点として重要な役割を果たしており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に選定される等、更なる発展が期待されています。

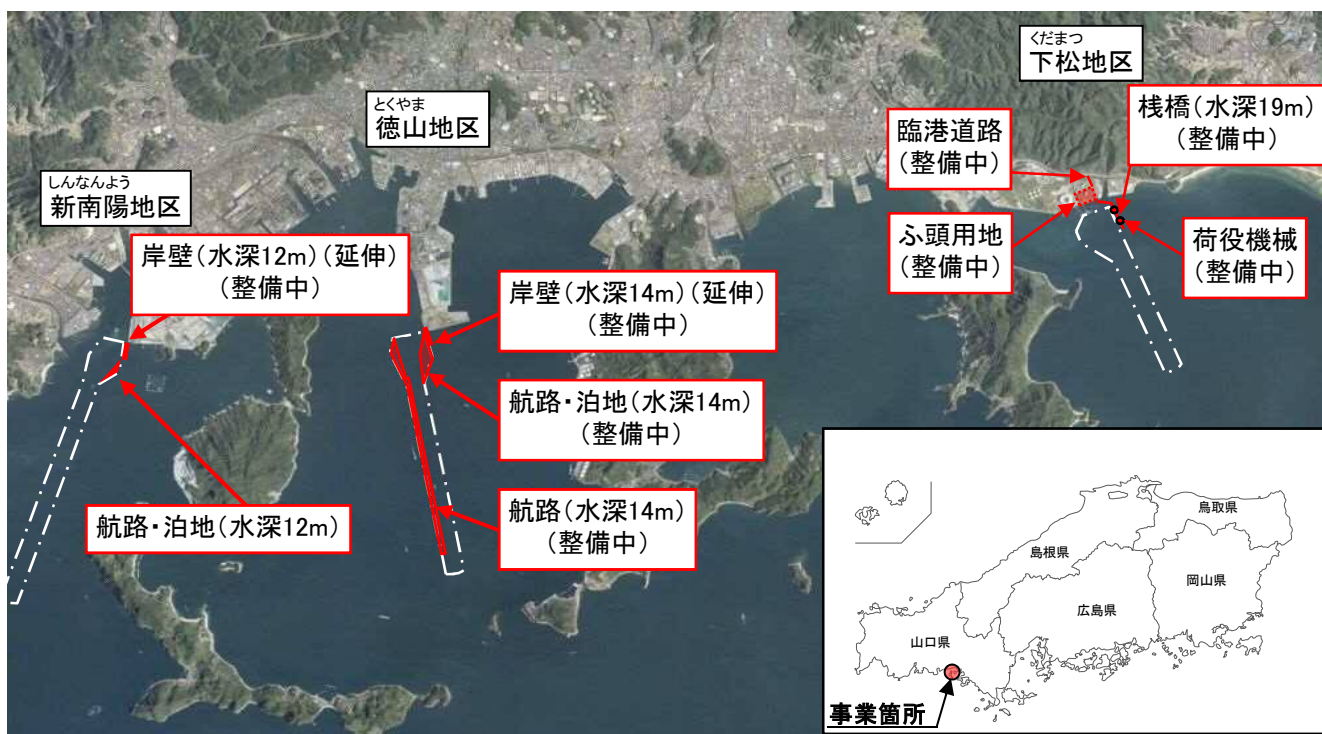
石炭を輸入する企業が利用する既存ターミナルは、大型船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送を余儀なくされています。このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、大型船に対応した岸壁等の整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県周南市、下松市

3. 令和3年度 予定事業内容

下松地区棧橋(水深19m)の本体工事等、徳山地区岸壁(水深14m)の本体工事、航路(水深14m)及び航路・泊地(水深14m)の浚渫工事、新南陽地区岸壁(水深12m)の調査設計等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、企業間連携による大型石炭運搬船を活用した共同輸送の進展への対応が可能となり、地域産業の安定・発展や国際競争力の強化が図られるとともに、西日本地域の石炭輸入拠点となることにより、石炭の安定的かつ安価な輸送の実現や大規模災害時における物資輸送機能の維持に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、港湾関連車両は混雑が激しい国道2号や住宅地内の市道を通行し、非効率な輸送を余儀なくされています。

このため、港湾貨物の物流効率化や住宅地の生活環境の改善を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

いわくに
山口県岩国市

3. 令和3年度 予定事業内容

臨港道路の橋梁下部・上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化が図られ、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、住宅地内の市道を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、周辺的生活環境の改善に資することが期待されます。

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mで暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

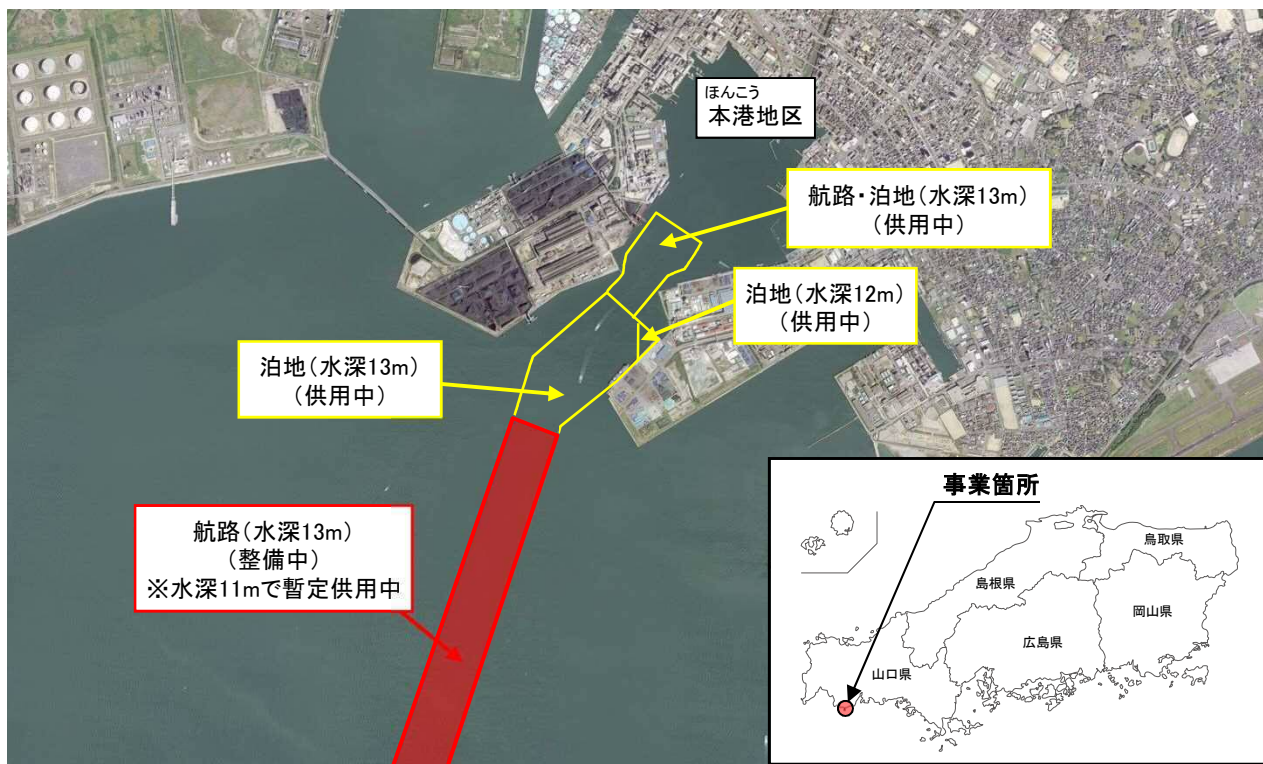
このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県^{うべ}宇部市

3. 令和3年度 予定事業内容

航路(水深13m)の浚渫工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送及び安全な航行が可能となり、物流コストの削減により基礎素材型産業の国際競争力の維持・強化に寄与します。